P.M ニュース

ロシア革命十五週年紀念
コップ結成一週年紀念大音楽会
準備号

一九三二・一一・一八
淀橋区戸塚町四丁目七四三
日本プロレタリア音楽家同盟
東京支部 発行

ロシア革命十五週年紀念 コップ結成一週年紀念 第五回P.M大音樂會（十二月十一日）

全同盟員諸君！

ロシア革命十五週年紀念をむかへて、集中的の音楽会を開く事を全同盟員は、待望した。

我々は、来る十二月十一日（日曜）音楽会を築地小劇場に於て開く。三月以来、七ヶ月に亘って、P.M東京支部はその活動を正面におし出す事が出来なかった。その事は全活動の上に波たいを来し殊に組織活動の行づまりの原因となってゐる。三月音楽会を中心として組織された技術者、及びサークル員を我々は序々に失って来た。合唱団はどれだけ発展したか、新しく構成されたハーモニカ団をのぞくなら合唱団は技術のていたい、オーケストラは懐滅にひんしてゐる。集中的公演こそ、サークル確保、技術者獲得、同盟員増加の組織的成果をあげる一モメントであり技術的高まりをはかるめもりである。

全同盟員諸君！

吾々は全力をあげてロシア革命十五週年紀念 コップ結成一週年紀念第五回音楽会を斗はう、この音楽会に備へるために現在どれだけの内容を有してゐるか？

東京プロレタリア合唱団

「愛する大陸」 詩 金龍済 曲 原太郎

去る三月作曲されたものであり、又その後原太郎によって新しく作曲しなほされたオーケストラ伴奏の合唱曲

「ドニエプルストロイの歌」 詩 峰ひろ子

「戦艦ポチョムキンの記憶に」 詩 代田史一

十月革命の一導火線となった戦艦ポチョムキンを記憶して、海員、港湾労働者がその斗争を歌った詩である。

「十月」

十月のテーマに依る歌謡集である。シュプレッヒの部分もある 合唱の伴奏に依る独唱の部分もある 既に曲はプリントされた合唱団の練習が始められようとしてゐる。

同志山本、新島、大山の中心分子を現在敵の手に奪はれてゐる合唱団は、力を結集して、勢力的に斗はねばならない。合唱団の代りの委員として青木哲、西川みつ子があげられた。

ハーモニカ班

「おいらが春」 原曲 宇田正義 編曲 中野秀三

モスコーに於て演奏された「おいらが春」は今度同志中野によってハーモニカ合奏用に編曲された。

「幻想行進曲」 原曲 グシクレンコ

ソヴエートロシアのグシクレンコに依って作曲されたブラス、バンド用のこの曲がハーモニカ班の大きな出しものとして編曲され様としてゐる。その他ハーモニカ班は同志永田に依って作曲されてある行進曲、斗争歌組曲等を出すだらう。

オーケストラ班

「インターナショナル」 新しい斗争歌 組曲

オーケストラ班のていたいを我々はこの音楽会を期して盛り返さねばならない。

全同盟員諸君！

以上が現在音楽会に備へられた内容だ。だが吾々にとって更に必要な内容がかけてゐる事に諸君は気づかれるだらう それは日本に於ける労働者農民の斗ひの歌を正面に出す事である

諸君！

あらゆる産業の労働者の歌を、婦人労働者の歌を、創作班に送れ。詩及作曲締切二十五日だ。

力を集結して音楽会を斗へ！

第五回 P.M.大音樂会

出演
合唱団
ハーモニカ班
オーケストラ班

期日 十二月十一日（日）
時間 ヒル一時半 ヨル七時
入場料 一般50セン
学生 40セン
労働者 20セン
会場 築地小劇場
主催 日本プロレタリア音楽家同盟 東京支部

音樂会実行委員会

左の如く任命された。

吉原澄子（企画部）
原太郎（創作班）
片岡久子（財政部）
土屋武丈（組織部）
赤松良雄（宣伝係）
河野桜（書記局）

全同盟員の自後承諾を求める。

準備基金募集・入場券前売を勢力的に斗ひ抜け

この音楽会を最も成功的に斗ひ抜く事は全同盟員のギ務だ 宣伝係は既に同志木下、中野、米本の献身的援助によって活発な活動を始めた。が準備金がないのだ 既に基金帖は出来たぞ 勢力的に基金募集をやれ。前売券は近日中に出来上る 特典あり 大いに売れ！